科目名	公民Ⅰ Civics Ⅰ			担当教員	河野　通弘		
学　年	2年	学　期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分　野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120014	単位区分	履修単位
学習目標	現代の様々な社会現象を政治・経済・法制度の側面から理解できるように努め，個人と国家・社会との関わりについて理解を深めて，社会人として必要な基礎知識を習得する。						
進め方	各項目ごとに政治経済の諸システムを理解するために必要な用語，知識の説明をおこなう。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	1. 政治部門その１（14） (1)政治と権力について (2)近代国家の成立とその展開 (3)ホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説 (4)民主政治の基本思想 (5)イギリス議院内閣制とアメリカ大統領制 (6)わが国の三権分立制度 (7)地方自治制度、選挙制度 ［前期中間試験］(2)	政治・権力の考え方が説明できる。 近代国家登場の背景，マキャベリやボーダンの政治思想，国家の 3 要素，ホッブズ・ロック・ルソーの社会契約説の思想と論者の差異，イギリス議院内閣制とアメリカ大統領制の差異が説明できる。わが国の国会・内閣・裁判所，戦前戦後の地方制度，選挙制度が説明できる。 学習・教育目標：A-1
	2. 政治部門その２（14） (1)憲法の意義 (2)大日本帝国憲法 (3)日本国憲法の制定過程 (4)日本国憲法の諸原理 (5)国民主権 (6)平和主義 (7)基本的人権とその種類 前期末試験	近代憲法の意味，現代憲法の特徴，明治憲法の特徴，ポツダム宣言から日本国憲法の制定過程までが説明できる。日本国憲法の基本理念，国民主権の原理，象徴天皇制，平和主義の原理，個別的自衛権と集団的自衛権の違い，基本的人権の種類と公共の福祉による制約について説明できる。 学習・教育目標：A-1
	3. 経済部門その１　（ミクロ経済）（14） (1)財と経済(学)の意義 (2)経済主体と経済循環 (3)資本主義経済の発展と経済思想 (4)1930 年代のアメリカ経済 (5)失業者対策と経済学 (6)市場機構と完全自由競争の条件 (7)価格の役割と価格決定のメカニズム ［後期中間試験］(2)	財の稀少性，財の種類，経済活動の意味，経済体制の特徴とその差異が説明できる。 3 つの経済主体と相互の経済循環，企業の種類，資本の意味，資本主義の発展史とその特徴，市場の役割，スミスとケインズの主張とその時代背景，価格機構，需要と供給の法則，資源の最適配分が説明できる。 学習・教育目標：A-1
	4. 経済部門その２　（ミクロ経済学続き）（6） (1)市場の機能 (2)市場機構の限界(市場の失敗) 5. 経済部門その３　（マクロ経済学）（8） (1)貨幣と通貨制度 (2)金融政策と日本銀行の役割 (3)財政の諸問題 (4)国民経済と国民所得 後期末試験	市場の役割と負の側面，市場の失敗，企業の独占寡占問題，外部性，公共財の存在，情報の非対称性，所得の合理的分配の失敗などが説明できる。 貨幣と通貨の違い，通貨制度の種類，金融政策の意味と種類，国民所得，三面等価の原則，会計と予算，財政の役割，わが国の租税制度，財政問題と財政政策について説明できる。 学習・教育目標：A-1
	試験返却(1)	

評価方法	評価は定期試験の得点で決定する。学習項目ごとの全体評価の重みは，前期と後期それぞれ 50%ずつとし，1. 25%、2. 25%、3. 25%、4. と 5. で 25%とする。
履修要件	特になし
関連科目	歴史Ⅰ（1 学年）　→　公民Ⅰ（2 学年）
教　材	教科書：香川勝俊編『教養の政治学・経済学』(学術図書出版社)
備　考	単位追認試験は実施する。再試験については，クラス平均点が 70 点を超える場合しない。